

思ひわび さても命はあるものを
憂きにたへぬは 涙なりけり

世の中よ 道こそなけれ 思ひ入る
山の奥にも 鹿ぞ鳴くなる

嘆けとて 月やは物を 思はする
かこち顔なる わが涙かな